まちづくり推進課

地域コミュニティづくり支援補助金

１　事業実施内容

魅力あるまちづくりを推進するため、 校区自治協議会及びその構成団体や町内自治会が主体的かつ継続的に行う、様々な分野の地域課題の解決や地域コミュニティの活性化に向けた取り組みに対し、財政的な支援を行うもの。

① 応募（企画提案）できる団体

・校区自治協議会　　・校区自治協議会の構成団体　　・町内自治会

② 補助率及び補助金の額

補助対象事業費の１／２以内で、２万５千円以上３０万円以内

③ 審査の方法

企画提案会（審査会）により審査し、補助金予算額１００万円の範囲内で交付対象団体及び補助金額を決定する。

２　予算及び決算見込

当初予算額	1,030 千円	（審査委員謝礼金を含む）
現予算額	1,060 千円	（　〃　）
決算見込額	999 千円	（　〃　）

３　事業の成果

① 地域の連帯感に基づく自治意識醸成

② 住民の身近な課題解決

③ 地域コミュニティの活性化

※今年度は、熊本地震の影響で応募できなかった団体への配慮や、復興に向け地域で実施される取り組みに活用していただくため２次募集を実施。

第１回目　応募：２団体、採択：２団体　（補助決定額：137,000 円）

第２回目　応募：８団体、採択：７団体　（補助決定額：813,000 円）

町内夏祭り活性化事業

【出水南校区第２町内】

多目的パネルを活用した校区の絆づくり

【向山校区自治協議会】

≪取り組み事例≫

【出水南校区第９町内自治会】
高齢者等に対する食事の提供による、地域コミュニティづくり活性化事業

補助金を使って、弁当箱等を購入。
賀寿に該当する地域住民を対象とした食事会が実施され、参加者の交流が図られた。※出席のできない対象者へはお弁当を配布。
食事づくりは、将来の地域活動の担い手の掘り起こしを目的として、地域内のボランティアを募って行われた。

【帯山西校区自治協議会】
帯西伝承の日（帯西小学生のための防災の日）

毎年開催している「もちつきとふれあい遊び」に加え、小学生を対象とした、防災のワークショップが実施された。
また、地震の際に校区自前の大鍋（防災用）の活用ができなかった反省から、「炊き出し訓練」として豚汁 700 食分を作り参加者に配られ、地域交流が図られた。

【一新校区自治協議会】
熊本地震一新小学校指定避難所災害対策本部活動記録誌制作

熊本地震における、一新校区の避難所対応を次世代に残すため、自主防災クラブ、自治協議会等が行った災害対策の活動記録誌の制作が行われた。全 164 ページ。
作成された冊子は、校区内の小中高校・各町内自治会・各種団体・行政へ配布され、貴重な資料となっている。